



**US100d/US300d**

**Citrix XenDesktop/XenApp 7.5**

**使用時における注意/制限事項**

## 目次

1. はじめに .....	3
2. 改定履歴 .....	4
3. サポート対象機種 .....	5
4. 評価におけるシステム構成 .....	6
5. US100d の注意/制限事項 .....	7
5.1. Citrix Receiver の展開および更新プログラムの管理 .....	7
5.2. StoreFront への接続 .....	7
5.3. US100d で使用できない機能 .....	7
5.4. US100d でサポート対象外の機能 .....	8
5.5. USB 周辺機器の利用 .....	8
5.6. HDX Windows Media リダイレクトの利用 .....	9
5.7. 既知問題 .....	10
6. US300d の注意/制限事項 .....	14
6.1. Citrix Receiver のアップグレード .....	14
6.2. Citrix Receiver の追加設定 .....	14
6.3. Citrix Receiver 4.1.2.3 の WDM 配信用パッケージスクリプト .....	16
6.4. Citrix Receiver の手動セットアップ .....	17
6.5. Citrix Receiver の展開および更新プログラムの管理 .....	18
6.6. Receiver と StoreFront 間のトランスポート .....	19
6.7. US300d で使用できない機能 .....	19
6.8. US300d でサポート対象外の機能 .....	19
6.9. HDX Flash リダイレクトの利用 .....	20
6.10. USB 周辺機器の利用 .....	21
6.11. 既知問題 .....	22
7. トラブルシューティング .....	24

## 1. はじめに

本書はシンクライアント端末の管理者向けに記載された「US100d/US300d Citrix XenDesktop/XenApp 7.5 使用時における注意/制限事項 第1版」です。Citrix XenApp と XenDesktop は、Windows デスクトップ環境やアプリケーションを配信するデスクトップ仮想化および VDI ソリューションです。これらの製品により、インフラストラクチャの展開が簡易化および自動化され、仮想インフラストラクチャの管理機能と、各ユーザーによるセルフサービス型のサブスクリプションが提供されます。XenApp および XenDesktop は高品位のユーザーエクスペリエンスを提供しながら個々のアプリケーションや完全なデスクトップをすばやく安全に配信できます。Citrix XenDesktop と XenApp の実運用環境への導入に関しては、運用環境に基づいた設定で十分な事前検証を行い、システムインテグレーション上問題ないことを確認してから使用してください。

## 2. 改定履歴

### 改訂履歴

改版	改訂年月日	改訂内容
1.0	2014/07/01	新規作成

### 3. サポート対象機種

本書は下記のシンクライアントをサポート対象として記載しています。

- US100d
- US300d

## 4. 評価におけるシステム構成

本書は次のシステム構成で弊社が実施した評価結果に基づいて記載しています。

※ 下記に記載されるコンポーネントおよびシステム環境以外については未評価です。

### シンクライアント

- US100d (WTOS 8.0.037) 英語版
- US100d (WTOS 8.0.037) 日本語版
- US300d (BDB0.2231.16GB) 英語版
- US300d (BDB0.2232.16GB) 日本語版

### Citrix XenDesktop/XenApp 7.5 エディション

- XenDesktop Platinum
- XenApp Platinum

### Citrix XenDesktop/XenApp 7.5 コンポーネント

- Studio 7.5.0.4531 (Windows Server 2012 R2)
- StoreFront 2.5.0.29 (Windows Server 2012 R2)
- Director 7.5.0.4509 (Windows Server 2012 R2)
- ライセンスサーバー 11.11.13012 (Windows Server 2012 R2/Windows Server 2008)
- Virtual Delivery Agent (VDA) 7.5.0.4523
- Citrix Receiver for Windows 4.1.2.3 (US300d)
- Citrix Receiver 3.x (US100d)

### Virtual Delivery Agent (VDA) for Windows デスクトップ OS

- Windows 8.1 Enterprise 32/64bit
- Windows 8 Enterprise 32/64bit
- Windows 7 SP1 Enterprise 32/64bit

### Virtual Delivery Agent (VDA) for Windows サーバーOS

- Windows Server 2012 R2 Datacenter
- Windows Server 2012 Datacenter
- Windows Server 2008 R2 SP1 Enterprise

### 仮想化リソース

- VMware vSphere 5.0 Update 2
- System Center 2012 R2 Virtual Machine Manager

※ クラウド環境、XenServer、Universal Print Server、EdgeSite、NetScaler Gateway、App-Vなどは未評価です。

## 5. US100d の注意/制限事項

### 5.1. Citrix Receiver の展開および更新プログラムの管理

US100d (WTOS 8.0.037)には Citrix Receiver 3.x 互換がインストールされています。US100d ではアプリケーションのみのインストールおよびアップグレードはサポートされておりません。システムの更新についてはファームウェアアップグレードで実施します。詳細については「US100d ユーザーズガイド WTOS 8.0 Build 037」を参照してください。

### 5.2. StoreFront への接続

- US100d は Internet Explorer 等のブラウザソフトウェアがインストールされていないため、StoreFront の Receiver for Web サイトには接続できません。
- StoreFront の Store Service サイトへ接続するには Citrix Receiver 4.0 以降が必要になります。US100d は Citrix Receiver 3.x のため、Store Service サイトには接続できません。US100d で XenDesktop/XenApp 仮想化リソースにアクセスするには StoreFront 上のレガシサポートを有効にし(デフォルト有効)、レガシサポートサイトへ接続します。

(http://<サーバー名>/Citrix/Store/PNAgent/Config.xml)

※ US100d から HTTPS(セキュア)プロトコルを使用したレガシサポートサイトへの接続はできません。詳細は本書の「5.7.既知問題」を参照してください。

### 5.3. US100d で使用できない機能

以下の機能は使用できません。

- **Desktop Lock**  
Desktop Lock は Windows ユーザーデバイスのみサポートされます。US100d では使用できません。
- **デスクトップコンポジションリダイレクト**  
Windows ユーザーデバイスからアクセスする場合にのみ有効になります。US100d では使用できません。
- **Flash リダイレクト**  
ユーザーデバイスに FLASH コンテンツがリダイレクトされ、ユーザーデバイス上でレンダリングする機能ですが、US100d 上には Adobe Flash Player がないため使用できません。FLASH コンテンツはサーバー側でレンダリングされます。
- **クライアントフォルダーのリダイレクト**  
US100d はクライアントフォルダーリダイレクト機能を使用できません。
- **スマートカードによる認証セキュリティ**  
US100d はローカルにスマートカードベンダーのデバイスドライバーと CSP ソフトウェアをインストールできないため、スマートカードを Windows ログオン認証デバイスとしては使用できません。

- **TWAIN デバイスリダイレクト**

US100d 上の TWAIN スキャナーデバイスをマッピングして、セッション上のスキャナーユーティリティから使用することはできません。USB スキャナーデバイスを使用するには HDX USB デバイスリダイレクト機能を使用する必要があります。

- **ユニバーサル印刷 (Universal Print Server)**

Windows ユーザーデバイスでのみ使用できます。US100d では使用できません。

- **タイムゾーン設定の構成(クライアントのローカルタイムゾーンを使用する)**

Windows ユーザーデバイスでのみ使用できます。US100d では使用できません。

- **ICA ブラウズ機能**

XenDesktop 7.0 以降、XenApp のアーキテクチャは XenDesktop と統合され、XenApp 7.5 では本機能は動作しません。US100d 上の ICA ブラウズ機能を使用して公開デスクトップおよびアプリケーションの検出はできないため、「接続設定の追加」から ICA 接続エントリを作成することはできません。XenApp 7.5 の公開リソースに接続するには「リモート接続設定」からブローカーサーバーに StoreFront のレガシサポートサイトを指定する必要があります。

- **再接続オプション**

US100d の「リモート接続設定」 - 「ブローカー」タブ内の再接続オプションは動作しません。

#### 5.4. US100d でサポート対象外の機能

以下の機能はサポート対象外となります。ご使用になる場合は、必ず事前に運用環境に基づいた設定で十分な事前検証を行い、問題がないことを確認してご使用ください。

- **HDX 3D Pro(シングルスクリーンのみの限定サポート)**
- **Web カメラの利用**
- **Web カメラビデオ圧縮でのビデオ会議**

#### 5.5. USB 周辺機器の利用

USB デバイスは各製造ベンダで異なるアーキテクチャを持っており、それらデバイスの利用はアプリケーション、ホストシステム、ネットワーク、ポリシー等に依存します。特定のデバイスに対して基本的な動作確認を行っておりますが、それらすべての詳細な組み合わせ(システムインテグレーション)の動作を保証するものではありません。USB デバイスを利用する場合は、システムインテグレーションとして必ず導入環境を想定した事前の詳細な検証、ベンチマークテストなどを実施し、システム導入にあった PoC(Proof of Concept)策定の上ご利用ください。システム環境上、各種設定やシステム環境の組み合わせ上発生する事象の場合、システムインテグレーションとして、設定回避や運用回避などでシステム環境に合った利用を行う必要があります。

## 5.6. HDX Windows Media リダイレクトの利用

本機能はサーバー側の仮想デスクトップ上でマルチメディアコンテンツを Windows Media プレイヤーを使用して再生すると、クライアントへエンコードした状態で送信し、デコード処理はクライアント側で行うため、ネットワーク帯域使用量の増加を防止できます。その結果負荷は軽減され、マルチメディア再生がスムーズに処理されます。US100d では HDX Windows Media リダイレクト機能をサポートしておりますが、ユーザーデバイス側でレンダリングを行うため、US100d ローカルにインストールされているコーデックに対応するメディアファイルのみ有効になります。US100d のローカルコーデックは下記の表を参照してください。

US100d のローカルコーデック

カテゴリ	対応する形式
オーディオ	<ul style="list-style-type: none"><li>● WMA1, WMA2, WMA3</li><li>● AAC</li><li>● MP3</li></ul>
ビデオ	<ul style="list-style-type: none"><li>● WMV8, WMV9</li><li>● H264</li></ul>

## 5.7. 既知問題

- US100d (WTOS 8.0.037)はレガシサポートサイトへ HTTPS(SSL)プロトコルでの接続に失敗します。HTTP 接続のみサポートします。この問題については次回リリースの WTOS バージョンで解決される予定です。
- 公開仮想デスクトップに接続後、マウスポインタが待機状態になると点滅する現象が発生します。
- 「接続設定全般」-「ICA」タブの「マップ」でドライブ文字列のマッピングを設定している場合、2つ以上の USB マスストレージデバイスをリダイレクトすると、片方がセッション上で認識されない、またはセッション中に抜き差しすると接続している USB マスストレージデバイスのマッピングが解除されるなどの不具合が発生します。
- キーボード言語が「日本語(109A)」の場合、公開仮想デスクトップセッション上でかな/カナ入力モード時に「を」「ヲ」が入力できません。なお、キーボード言語が「日本語」の場合はこの問題はありません。この問題については次回リリースの WTOS バージョンで解決される予定です。
- キーボード言語が「日本語」および「日本語(109A)」の場合、公開仮想デスクトップセッション上で「Shift」+「無変換」キーによる入力文字変換（上方向）と、「Shift」+「変換」キーによる変換候補選択（上方向）が機能しません。この問題については次回リリースの WTOS バージョンで解決される予定です。
- 公開サーバーデスクトップ OS が Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 の場合、接続設定の音声品質が中程度(ミディアム)でセッション上のマイク録音機能を使用すると、音量が小さすぎるためほとんど聞こえません。この場合、音声品質を高音質に設定することで録音の音量を上げることができます。この問題については次回リリースの WTOS バージョンで解決される予定です。
- 接続エントリの「接続」タブで接続画面の色に "High Color (16 ビット)"、"256 色(8 ビット)" を設定すると、公開仮想デスクトップが正常に画面表示されません。デフォルト設定である"True Color(32 ビット)"を使用してください。
- クラシックデスクトップモード時にタスクバーに表示される「Program Neighborhood Agent」には以下の制限があります。
  - メニューの「ログオフ」機能は動作しません。
  - メニューの「切断」を実行した場合、接続オプションの「切断後に再接続する」機能が有効にならず、再接続されません。
- 仮想デスクトップセッション上で Windows キーを含むショートカットキー使用時に Windows キーを遅めに放すと、ショートカットキーの動作だけでなく、Windows キー単体での入力も送信され、スタートメニュー(スタート画面)が起動します。この問題については次回リリースの WTOS バージョンで解決される予定です。

- 以下の条件の場合に、セッション接続中に同じセッションに対して接続を試みた場合、切断と再接続を繰り返す状態に陥ります。その場合、再接続ダイアログを閉じてキャンセルすることで再接続を回避できます。永続的に現象を回避するには、以下の条件のいずれかを変更してください。
  - クラシックデスクトップモード
  - 接続設定全般の「セッション」タブで「一度だけ起動」のチェックが無効
  - 接続エントリの「接続」タブで「切断後に再接続する」のチェックが有効
- 接続エントリの「Reset」ボタンを押しても再起動に失敗することがあります。本機能は仮想デスクトップを強制的にリセットするため仮想デスクトップに深刻なダメージを与える可能性があり、その結果仮想マシンの再起動が正常に実行されないケースがあります。「Reset」機能は仮想マシンが深刻な事態に陥った場合、その状態を回避するための非常手段として使用することに注意してください。US100d では INI ファイルに下記パラメータを記載して「Reset」ボタンを無効にすることができます。INI ファイルの詳細は「リファレンスガイド US100d INI ファイル WTOS 8.0 Build 037」を参照してください。

SessionConfig=ALL ¥

DisableResetVM=yes (デフォルト値は no)

また Citrix Studio 上から以下の手順を実施することで「Reset」機能を無効化することができます。ただし US100d 上の[Reset]ボタンは表示されたままとなり、[Reset]ボタンをクリックすると、「再起動の失敗 仮想マシン"<マシン名>"」のメッセージが表示されます。

1. Citrix Studio から PowerShell を起動します。
2. 下記コマンドを順に実行します。
 

```
Set-BrokerAccessPolicyRule -Name "<デリバリーグループ名>_Direct" -AllowRestart $false
Set-BrokerAccessPolicyRule -Name "<デリバリーグループ名>_AG" -AllowRestart $false
```
3. 下記コマンドを順に実行します。一覧の[AllowRestart]の値に[False]が設定されていることを確認します。
 

```
Get-BrokerAccessPolicyRule -Name "<デリバリーグループ名>_Direct"
Get-BrokerAccessPolicyRule -Name "<デリバリーグループ名>_AG"
```

- ※ [Reset]ボタンを有効化するには下記コマンドを Citrix Studio の PowerShell 上で実行します。
- ```
Set-BrokerAccessPolicyRule -Name "<デリバリーグループ名>_Direct" -AllowRestart $true
Set-BrokerAccessPolicyRule -Name "<デリバリーグループ名>_AG" -AllowRestart $true
```

- 「リモート接続設定」-「ブローカー」タブ-「XenApp/XenDesktop」ボタンクリック時に以下の設定が「接続設定全般」-「ローカル接続に自動接続」のデバイスの有効/無効に反映されません。
  - ・ プリンタ
  - ・ シリアル
  - ・ ディスク
  - ・ サウンド
  - ・ スマートカード
  - ・ USB
- Windows Media リダイレクトが有効なメディアファイルを Windows Media プレイヤーで再生した場合、画面中央に黒点が表示されるケースがあります。
- Windows Media リダイレクトが有効なメディアファイルを Windows Media プレイヤーで再生した場合、再生が開始される冒頭で瞬間的にノイズが発生するケースがあります。これは Windows Media リダイレクト機能が有効になるタイミングで発生します。
- Windows Media リダイレクトが有効なメディアファイルを Windows Media プレイヤーで再生した場合、ICA 接続エントリの「オプション」タブ-「音声品質」の設定で再生するメディアファイルの音声品質を制御できません。
- クラシックデスクトップモード使用時に、接続設定全般の ICA タブで全画面モードのデスクトップを有効にしても、既定の設定として適用されません。
- クラシックデスクトップモードのウィンドウモード（シームレス）で Windows Server 2012 R2 の公開アプリケーションのペイントを起動し、「Alt + PrintScreen」でキャプチャ画像をクリップボードにコピーし、「Ctrl + v」で貼り付け操作を繰り返すと US100d がエラー画面と共にフリーズします。この問題については次回リリースの WTOS バージョンで解決される予定です。
- 公開仮想デスクトップに接続時に自動的にログオンせず、アカウント選択画面でとまったままになるケースがあります。本現象が発生した場合は、手動でユーザーID、パスワードを入力してログオンしてください。

- 接続エントリの「接続」タブ - 「起動時に自動接続する」を有効にしても、US100d の再起動後、公開仮想デスクトップおよびアプリケーションに自動接続されません。これはブローカーサーバー(StoreFront サーバー)にサインオンすると、接続先リストを取得する度にエントリの設定が初期化されるためです。「起動時に自動接続する」オプションは手動作成されたエントリに対しては有効ですが、ブローカーサーバー経由で自動作成されたエントリに対しては有効にできません。

「リモート接続設定」のブローカーサーバー経由で取得した接続エントリに自動接続するには、INI ファイルを使用して PnLiteServe パラメータのオプションパラメータである AutoConnectList を設定する必要があります。INI ファイルの詳細は「リファレンスガイド US100d INI ファイル WTOS 8.0 Build 037」を参照してください。

この問題については次回リリースの WTOS バージョンで INI ファイルを使用せず、ユーザーインターフェース上から設定できるように修正される予定です。

- ※ 例外として、ブローカーサーバー経由で取得した接続エントリがサインオンユーザーに対して 1 つのみの場合は、US100d にサインオン時に自動的に接続されます。この動作は既定の動作となります。特別な設定は必要ありません。

## 6. US300d の注意/制限事項

### 6.1. Citrix Receiver のアップグレード

工場出荷状態の US300d にデフォルトインストールされている Citrix Receiver はバージョン 4.0.0.45893 です。Citrix XenDesktop/XenApp 7.5 を使用するにあたり、Citrix Receiver を最新バージョン(2014/06 現在ではバージョン 4.1.2.3)へアップグレードしてください。US300d に Citrix Receiver をインストールするには WDM(Wyse Device Manager)の使用を推奨します。最新の Citrix Receiver に対応する WDM 配信用スクリプトは下記サイトからダウンロードできます。

<http://www.nec.co.jp/products/thinclient/support/index.shtml>

※ ダウンロードされるモジュールは WDM(Wyse Device Manager)配信用スクリプトになります。Citrix Receiver インストーラー本体(CitrixReceiver.exe)は XenDesktop/XenApp インストールメディアなどから別途入手してください。

### 6.2. Citrix Receiver の追加設定

工場出荷状態の US300d にデフォルトインストールされている Citrix Receiver については以下の点に注意してください。

- US300d 上のローカル C ドライブはセッション上にデバイスマッピングによってリダイレクトされないように下記のレジストリで制限されています。公開仮想デスクトップのセッション上で使用することはできません。  
[HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ICA Client\Engine\Configuration\Advanced\Modules\ClientDrive]  
"DisableDrives"="C"
- App Path の下記のレジストリを削除しています。  
[-HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\App paths\WFCMGR32.EXE]  
[-HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\App paths\Citrix]
- App Path に下記のレジストリを登録しています。  
[HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\App paths\CitrixReceiver]  
@"C:\Program Files\Citrix\ICA Client\Receiver\Receiver.EXE" path="C:\Program Files\Citrix\ICA Client\Receiver"

- XenDesktop 5.0 上で USB リダイレクションが動作しない問題に対応するため、下記のレジストリを登録しています。

[HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Citrix¥ICA Client¥GenericUSB¥Devices]

"AutoRedirectAudio"=dword:00000001

"AutoRedirectPrinters"=dword:00000001

"AutoRedirectVideo"=dword:00000001

"AutoRedirectStorage"=dword:00000001

"AutoRedirectImage"=dword:00000001

- インストール時のコマンドライン引数によるオプションは指定されておりません。例えば、スマートカードシングルサインオン認証（パススルー認証）はインストールされていません。
- 以下のファイルを削除し、起動時に Citrix Receiver がスタートアップしないようにしています。  
C:¥ProgramData¥Microsoft¥Windows¥Start Menu¥Programs¥Startup¥Receiver.lnk
- 以下のファイルを削除し、スタートメニューから Citrix Receiver のショートカットを削除しています。  
C:¥ProgramData¥Microsoft¥Windows¥Start Menu¥Programs¥Citrix¥Citrix Receiver.lnk
- デスクトップに Citrix Receiver のショートカットを作成しています。  
C:¥Users¥Public¥Desktop¥Citrix Receiver.lnk
- ファイアーウォールに下記コマンドで例外登録をしています。

```
netsh advfirewall firewall add rule name = "Citrix HDX Engine" dir=in program="c:¥program
files¥citrix¥ica client¥wfica32.exe" action=allow description="Citrix HDX Engine" enable=yes
profile=any protocol=UDP
```

```
netsh advfirewall firewall add rule name = "Citrix HDX Engine" dir=in program="c:¥program
files¥citrix¥ica client¥wfica32.exe" action=allow description="Citrix HDX Engine" enable=yes
profile=any protocol=TCP
```

### 6.3. Citrix Receiver 4.1.2.3 の WDM 配信用パッケージスクリプト

WDM パッケージ配信により Citrix Receiver 4.1.2.3 をインストールした場合、本書の「6.2.Citrix Receiver の追加設定」に加えて以下の変更箇所があることに注意してください。

- Citrix Receiver の WDM パッケージ配信によるサイレントインストール時に、ウィンドウの表示を制御するために下記のレジストリを登録しています。

```
[HKEY_CURRENT_USER\Software\Citrix\Receiver]
```

```
"EnableFTU"=dword:00000000
```

- Citrix Receiver のアンインストール不具合を修正するために下記のレジストリを削除しています。

```
[-HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\Receiver\Inside\Full Receiver]
```

- Dell Wyse Client Information 上に表示される WDM Packages 情報を変更しています。

レジストリの削除

```
[-HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\WNT\Packages\CitrixReceiverEnterprise_3.0.0.56410_WES7]
```

```
[-HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\WNT\Packages\CitrixReceiverEnterprise_3.1.0.64091_WES7]
```

```
[-HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\WNT\Packages\CitrixReceiverEnterprise]
```

レジストリの登録

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\WNT\Packages\CitrixReceiverStandard]
```

```
"Name"="CitrixReceiverStd_4.1.2.3_WES7SP1"
```

- Dell Wyse Client Information 上に表示される Copyright/Patents (著作/特許) 情報を変更しています。

C:\Windows\System32\AboutCpy.txt の下記を置換

置換前 "1990-201\* Citrix Systems, Inc."

置換後 "1990-2013 Citrix Systems, Inc."

## 6.4. Citrix Receiver の手動セットアップ

Citrix Receiver を手動でアンインストールまたはインストールする場合は以下の点に注意してください。

- FBWF(File Based Write Filter)を無効化する必要があります。FBWF については「US300d ユーザーズガイド」を参照してください。
- Citrix Receiver インストール時に一時的に RAMDisk サイズを 200MB に拡張する必要があります。RAMDisk については「US300d ユーザーズガイド」を参照してください。
- ユーザーデバイスから Receiver をアンインストールした後、icaclient.adm により作成された Receiver のカスタム設定レジストリキーが、HKEY\_LOCAL\_MACHINE および HKEY\_LOCAL\_USER の下の Software\Policies\Citrix\ICA Client ディレクトリに残ります。Receiver を再インストールする場合、これらのポリシーによって予期せぬ問題が発生することがあります。これらのカスタムポリシーは、手動で削除してください。
- 本書の「6.2.Citrix Receiver の追加設定」と「6.3.Citrix Receiver 4.1.2.3 の WDM 配信用パッケージスクリプト」の注意事項を考慮してください。

## 6.5. Citrix Receiver の展開および更新プログラムの管理

Citrix Receiver の展開および更新プログラムの管理について以下の点に注意してください。

- US300d は FBWF (File Based Write Filter)によりシステムを保護されており、FBWF 有効時に変更した設定は再起動後に全て失われるため、Receiver for Web サイトからの Citrix Receiver の配布および更新には対応していません(本書の「6.4.Citrix Receiver の手動セットアップ」を参照してください)。Citrix Receiver の配布および更新には WDM(Wyse Device Manager)の使用を推奨します。
- US300d の Internet Explorer から StoreFront の Receiver for Web サイトに初回アクセス時には以下の画面が表示されます。画面下部の 'Citrix Systems, Inc.'からの Citrix ICA Client アドオンの実行を「許可 (A)」すると、Internet Explorer 上にアドオンがインストールされ、Citrix Receiver のインストール状態が評価されます。以降は Citrix Receiver のダウンロードおよびインストール確認メッセージはスキップされ表示されない動作となります。しかしながら US300d は FBWF(File Based Write Filter)により保護されており、システムへの変更は再起動時に破棄されます。そのため、Citrix Receiver のインストール要求画面とアドオン実行の許可を求めるポップアップウィンドウが再起動する度に表示されることになります。本現象を回避するには FBWF を無効化した状態で、Citrix ICA Client アドオンの実行を許可するか、または「インターネットオプション」-「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」に Receiver for Web サイトを登録してください。FBWF については「US300d ユーザーズガイド」を参照してください。



## 6.6. Receiver と StoreFront 間のトランスポート

Citrix Receiver 4.0 以降は Self-service Plug-in を使用する (Store Service サイトに接続する) 場合、HTTPS (セキュア) プロトコルの使用が既定となっております。StoreFront 間に HTTP プロトコルを使用する場合、「アカウントの追加」時に「HTTPS で始まる安全なサーバーアドレスを入力してください。」とメッセージが表示され入力できません。弊社では HTTPS (セキュア) プロトコルの使用を推奨しますが、以下の手順で HTTP プロトコルの使用を許可することができます。

1. FBWF を無効にします。
2. Administrator アカウントでログオンします。
3. 「ファイル名を指定して実行」ダイアログを起動して、「regedit」と入力し、レジストリエディターを起動します。
4. 下記レジストリを編集および登録します。

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Citrix\Dazzle]  
AllowAddStore="A"
```

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Citrix\AuthManager]  
ConnectionSecurityMode="Any" (REG_SZ) ← 本レジストリは手動で追加登録します。
```

5. FBWF を有効にします。

## 6.7. US300d で使用できない機能

以下の機能は使用できません。

- **Desktop Lock**

Desktop Lock は Citrix Receiver 4.0 以降ではサポートされません。US300d にインストールされている Citrix Receiver バージョンは 4.0 以降のため使用できません。

## 6.8. US300d でサポート対象外の機能

以下の機能はサポート対象外です。ご使用になる場合は、必ず事前に運用環境に基づいた設定で十分な事前検証を行い、問題がないことを確認してご使用ください。

- **HDX 3D Pro**
- **Web カメラビデオ圧縮でのビデオ会議**
- **ユニバーサル印刷 (Universal Print Server)**
- **Citrix HDX RealTime Media Engine**

## 6.9. HDX Flash リダイレクトの利用

Flash リダイレクト機能を有効にすると、ほとんどの Adobe Flash コンテンツ（アニメーション、ビデオ、アプリケーションなど）が LAN または WAN で接続されたユーザー側の Windows デバイス上で処理（レンダリング）されます。処理をサーバーからユーザーデバイス側に移すことで、サーバーリソースおよびネットワークの負荷が軽減されます。

Flash リダイレクトを使用するにはユーザーデバイス上に Flash Player をインストールする必要があり、工場出荷状態の US300d には下記 FLASH Player がインストールされています。

- Flash Player ActiveX バージョン 11.8.800.94
- Flash Player プラグイン バージョン 11.8.800.94

ユーザーデバイス上の Flash Player のバージョン（メジャーバージョン番号）は、サーバー上のものと同じまたはそれ以降である必要があります。そのため US300d 上の Flash Player のバージョンがサーバー上より以前のバージョンがインストールされている状態では、Flash コンテンツはサーバー上で処理されます。

また、Flash リダイレクトを構成するには、US300d 上で FBWF(File Based Write Filter)を無効にし、以下を設定する必要があります。FBWF については「US300d ユーザーズガイド」を参照してください。

1. クライアント管理テンプレート（HdxFlash-Client.adm）をインポートして追加します。このテンプレートは、以下の場所からインポートできます。  
“C¥Program Files¥Citrix¥ICA Client¥Configuration¥ja¥HdxFlash-Client.adm”
2. グループポリシーオブジェクトポリシー [このユーザーデバイスでの HDX MediaStream Flash リダイレクトを有効にする] を有効にします。
3. ご使用になる環境に合わせてその他のサーバー側、クライアント側に設定が必要になる場合があります。詳細についてはシトリックス社- eDocs などのドキュメントも合わせて参照してください。

## 6.10. USB 周辺機器の利用

USB デバイスは各製造ベンダで異なるアーキテクチャを持っており、それらデバイスの利用はアプリケーション、ホストシステム、ネットワーク、ポリシー等に依存します。特定のデバイスに対して基本的な動作確認を行っておりますが、それらすべての詳細な組み合わせ(システムインテグレーション)の動作を保証するものではありません。USB デバイスを利用する場合は、システムインテグレーションとして必ず導入環境を想定した事前の詳細な検証、ベンチマークテストなどを実施し、システム導入にあった PoC(Proof of Concept)策定の上ご利用ください。システム環境上、各種設定やシステム環境の組み合わせ上発生する事象の場合、システムインテグレーションとして、設定回避や運用回避などでシステム環境に合った利用を行う必要があります。ご使用になる場合は、必ず事前に運用環境に基づいた設定で十分な事前検証を行い、問題がないことを確認してご使用ください。

## 6.11. 既知問題

- Windows 8 のスタート画面でサインオンユーザー名が表示されない場合があります。サインオンユーザー名の表示箇所をクリックすることでメニュー表示は可能です。
- Windows 8 の仮想 PC へ接続すると、デスクトップ上にマウスカーソルが表示されない場合があります。表示するには、一度デスクトップ上でマウスを右クリックしてください。
- US300d(日本語版)で Citrix HDX USB デバイスリダイレクト機能を使用して USB デバイスをリダイレクトさせた場合、US300d のデバイスマネージャーで表示される Citrix 汎用デバイスドライバの表示名が文字化けします。
- Windows Media リダイレクトが有効なメディアファイルを Windows Media プレイヤーで再生した場合、画面中央に黒点が表示されるケースがあります。
- Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 の公開デスクトップに接続した場合、デスクトップが全体的に若干ぼやけたり、背景にウィンドウダイアログの残像が残ったりします。これは「コントロールパネル」-「個人設定」でテーマを「Citrix Enhanced Desktop」から別のテーマに変更することで軽減できます。
- 公開仮想デスクトップ右クリックメニューの「Reset」ボタンを押しても再起動に失敗することがあります。本機能は仮想デスクトップを強制的にリセットするため仮想デスクトップに深刻なダメージを与える可能性があり、その結果仮想マシンの再起動が正常に実行されないケースがあります。「Reset」機能は仮想マシンが深刻な事態に陥った場合、その状態を回避するための非常手段として使用することに注意してください。「Reset」機能を無効化するには本書の「5.7.既知問題」を参照し、Citrix Studio から「Reset」機能を無効化する手順を実施してください。
- 公開仮想デスクトップのセッションを切断し、その切断セッションが残っているまま別の公開仮想デスクトップセッションを起動した場合、切断セッションも同時に起動されます。またいずれかのセッションへの接続が失敗し、エラーメッセージ("仮想デスクトップ名"への接続に失敗しました。状態:0")が表示される場合があります。
- ICA 接続で全画面接続時に表示されるメッセージ(「ヒント: 全画面モードについて」)を表示した状態で放置した場合、接続後に ICA セッション内でキーボードやマウスなどの操作が効かなくなる場合があります。この場合は、セッションウィンドウをウィンドウモード(SHIFT+F2 キー)に変更後、セッションウィンドウを[×]ボタンで閉じて再度 ICA セッションに接続してください。

本事象を回避するには、「ヒント: 全画面モードについて」のダイアログを表示しないように設定してください。

「ヒント: 全画面モードについて」のダイアログにて、「次回からこのダイアログボックスを表示しない」にチェックを入れることで、次回以降のログオンにおいては、「ヒント: 全画面モードについて」のダイアログは表示されなくなります。

- DesktopViewer 機能が無効の状態で開催デスクトップに接続した場合、下記ショートカットキーが公開デスクトップ上ではなくローカルに送信されます。
  - Alt + Tab + (Shift) (開いている項目を切り替える)
  - Alt + Esc + (Shift) (項目を開いた順に切り替える)
  - Windows キー単体 (スタートメニュー表示)
  - Ctrl + Esc (スタートメニュー表示)
  - 左 Alt + 左 Shift + PrintScreen (ハイコントラストの切り替え) ※セッション上と両方で動作します。
  - 左 Alt + 左 Shift + NumLock (マウスキーの切り替え)

FBWF(File Based Write Filter)を無効にし、US300d 上の Microsoft Lync Vdi 2013 をアンインストールすることで下記ショートカットキーは公開デスクトップ上に送信されるようになります。FBWF については「US300d ユーザーズガイド」を参照してください。

- Alt + Tab + (Shift) (開いている項目を切り替える)
- Alt + Esc + (Shift) (項目を開いた順に切り替える)
- Windows キー単体 (スタートメニュー表示)
- Ctrl + Esc (スタートメニュー表示)

※ Microsoft Lync Vdi 2013 をアンインストールする場合、デフォルトのRAMディスクサイズではアンインストールに失敗します。[コントロールパネル] → [Ramdisk]からRAMディスクの サイズを 200MBに増やす必要があります。[Ramdisk]については「US300dユーザーズガイド」を参照してください。

- 「Citrix コネクションセンター」ダイアログ内の「アプリケーション」-「終了」ボタンをクリックしても公開アプリケーションセッションが終了されない場合があります。

## 7. トラブルシューティング

### ? US300d 上にメモリ不足の警告メッセージが表示される

- US300d から複数の仮想デスクトップセッションに接続すると、US300d 上にメモリ不足の警告メッセージが表示され動作が不安定になるケースがあります。複数のセッション上で平行して作業することは推奨できませんが、ICA ポリシーを Citrix Studio 上で設定することで、ユーザーデバイス側の負荷を軽減することもできます。以下にその例を記載します。
  - [従来のグラフィックモード]を有効にする  
本設定を有効にすると、リッチなグラフィック表示を無効にして、従来の表示モードにフォールバックします。これによりスケーラビリティが向上しますが、特に WAN やモバイル接続時のユーザーエクスペリエンスが低下します。デフォルトでは無効が設定されています。
  - [デスクトップコンポジションリダイレクト]を無効にする  
本設定を無効にし、デスクトップコンポジション機能を VDA からクライアントにリダイレクトしてユーザーエクスペリエンスを向上させる機能を禁止します。デフォルトでは有効が設定されています。

### ? HDX USB デバイスリダイレクトが使用できない

- 公開仮想デスクトップがサーバーOS の場合、HDX USB デバイスリダイレクト機能は使用できません。
- HDX USB デバイスリダイレクトは既定で無効に設定されています。有効にするには Citrix Studio からポリシーの「クライアント USB デバイスリダイレクト」を「許可」に設定する必要があります。

### ? USB オーディオデバイスからセッション上の Windows Media プレイヤーの音声聞こえない

- USB オーディオデバイスを使用する場合、HDX USB デバイスリダイレクトと Windows Media リダイレクトの両方を使用した場合、USB オーディオデバイスからセッション上の Windows Media プレイヤーの音声は聞こえません。  
USB オーディオデバイスを使用する場合、HDX USB デバイスリダイレクトされると、USB オーディオデバイスはリモート PC 上で再生された音声のみ出力します。しかし、Windows Media リダイレクトが有効なメディアファイルを再生すると、音声はクライアントでレンダリングします。そのため、音声聞こえない現象が発生します。この場合は、HDX USB リダイレクトを無効(あるいは USB オーディオデバイスを USB リダイレクト対象から除外)に設定し、音声をローカルで再生するか、または Windows Media リダイレクト機能を無効にし、サーバー上で音声をレンダリングするように設定します。

## ? HDX USB デバイスリダイレクトで スキャナーデバイスが使用できない

- HDX USB デバイスリダイレクト機能でスキャナーデバイスを使用する場合は、Citrix Studio 上のポリシー「クライアント TWAIN デバイスリダイレクト」を「禁止」してください。スキャナーデバイスの画像取り込み用のユーティリティを公開仮想デスクトップ上で使用した場合、TWAIN デバイスリダイレクトが有効になっているため、クライアント側のデバイスとしてスキャナーを使用しようとして失敗するケースがあります。

## ? DesktopViewer を無効にできない

- StoreFront の Store Service/ Receiver for Web サイトで DesktopViewer を無効にするには、StoreFront サーバー上の C:\inetpub\wwwroot\Citrix\Store\App\_Data\default.ica ファイルをテキストエディターで開いて編集します。[Application]セクションに下記パラメータを追加します。

[Application]

ConnectionBar=0

- StoreFront の Receiver for Web サイトのみで DesktopViewer を無効にするには、StoreFront サーバー上の C:\inetpub\wwwroot\Citrix\StoreWeb\web.config ファイルをテキストエディターで開いて編集します。 <serverSettings>タグ内の showDesktopViewer パラメータの値を"true"から"false"へ変更します。

```
<resourceService persistentIconCacheEnabled="true" icaFileCacheExpiry="90"
  iconSize="48" showDesktopViewer="false" />
```

## ? US300d 上でアカウント情報が保持されない

- US300d は FBWF (File Based Write Filter)によりシステムを保護されており、Citrix サーバーに対するアカウント情報は、FBWF デフォルトの設定では再起動すると破棄されます。アカウント情報を保持するには FBWF を無効にする必要があります。FBWF については「US300d ユーザーズガイド」を参照してください。

US100d/US300d  
Citrix XenDesktop/XenApp 7.5  
使用時における注意/制限事項

2014 年 7 月 第 1 版

日 本 電 気 株 式 会 社  
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号  
TEL (03) 3454-1111 (大代表)